

2023 第2回 リレー講座を以下の通り実施しました。多数のご参加ありがとうございました。参加者の皆様の様子をご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

担当者 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター 講師 紺谷 正樹

日時・場所 6月10日(土) 13:30~ C105教室

タイトル 「教育評価に生かす ICT 機器の活用の在り方ー 生徒の学習履歴の収集・分析の仕方ー」

講義内容

- ・ 教師の機能と学習規律
- ・ 教育評価について
- ・ スタディログ (学習履歴)
- ・ スタディログを活用した教育評価
- ・ ファイルの種類は2種類しかない
- ・ Google Form によるテストづくり

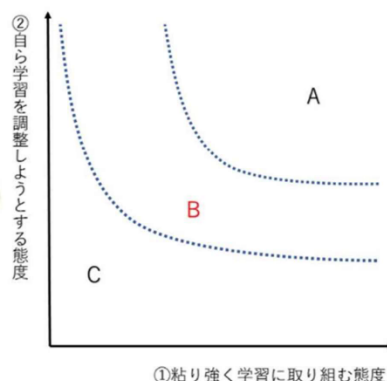


(2018) 平成31年1月 教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」 P12

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、
 ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

○ これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



丸数字は順番を表している。

参加者の声より一部抜粋

- ・ IRT など新しい評価について、今後の教育界の動きをわかりやすく教えていただいた。
- ・ 高校普通教科「情報 I」を学んだ学生たちが現場に出てくる頃には新しい評価が広まるかもしれない動きを知ることができた。
- ・ 普段から教授法としての ICT 活用の取組が多いと思う一方、評価法についてはイメージできず、参加させていただきました。評価の ICT 活用は必須かなと感じていたので今後検討していきたいと感じました。
- ・ 問題強度で公平かつ生徒にとって自分のレベルに合わせて個別で最適な学習として行えそうである可能性を感じました。